

## 令和7（2025）年度 第1回地域包括支援センター運営協議会 議事要旨

- 1 開催日時 令和7（2025）年10月29日（水）午後3時から午後4時まで
- 2 開催場所 市役所1階 多目的室
- 3 出席者 **【委員：11名】**  
阿部委員、杉本委員、山本委員、山田委員、松木委員、笠原委員、藤田委員、  
品田（恵）委員、小林委員、村田委員、品田（峰）委員  
**【事務局職員：10名】**  
福祉保健部 宮川部長  
介護高齢課 武本課長、金子（保）課長代理、金子（智）課長代理、曾田係長、  
直井主任、伊藤主任、市川主査、三五主任
- 4 会議資料
  - （1）令和7（2025）年度 第1回地域包括支援センター運営協議会 次第
  - （2）地域包括支援センター運営協議会委員名簿
  - （3）資料1 令和7（2025）年度 地域包括支援センター運営協議会の所掌事務について
  - （4）資料2 令和7（2025）年度 地域包括支援センターの業務について
  - （5）資料3 - 1 令和7（2025）年度 地域包括支援センターにおける包括的支援事業実施方針
  - （6）資料3 - 2 令和7（2025）年度 地域包括支援センターの重点的活動
  - （7）資料4 令和7（2025）年度 地域包括支援センターの職員配置について
  - （8）資料5 - 1 令和6（2024）年度 地域包括支援センター活動報告 分析資料
  - （9）資料5 - 2 令和6（2024）年度 地域包括支援センター活動報告 集計表
  - （10）資料5 - 3 令和6（2024）年度 地域包括支援センター業務チェックまとめ
  - （11）資料5 - 4 令和6（2024）年度 高齢者虐待の状況
  - （12）資料6 令和6（2024）年度 地域包括支援センター収支決算報告書
  - （13）資料7 - 1 令和6（2024）年度 認知症初期集中支援推進事業活動報告
  - （14）資料7 - 2 令和6（2024）年度 認知症地域支援・ケア向上事業活動報告
- 5 会議内容 事務局である武本課長が次第に沿って会を進行する。
  - （1）開会

- (2) 令和7（2025）年度 地域包括支援センター運営協議会の所掌事務について  
資料1に基づき、事務局が説明。

【意見・質疑応答】なし

- (3) 令和7（2025）年度 地域包括支援センターの業務について  
資料2に基づき、事務局が説明。

【意見・質疑応答】なし

- (4) 議事 阿部会長が次第に沿って議事を進行する。

**報告事項**

- ア 令和7（2025）年度 地域包括支援センター実施方針及び重点的活動について  
資料3 - 1、3 - 2に基づき、事務局が説明。

【意見・質疑応答】なし

- イ 令和7（2025）年度 地域包括支援センターの職員配置について  
資料4に基づき、事務局が説明。

【意見、質疑応答】なし

- ウ 令和6（2025）年度 地域包括支援センターの活動報告について  
資料5 - 1、5 - 2に基づき、事務局が説明。

【意見、質疑応答】なし

資料5 - 3、5 - 4に基づき、事務局が説明。

【意見、質疑応答】

（委員）

資料5 - 3について、すべての包括支援センターで大きな問題なく業務が遂行されているとの認識でよいか。

（事務局）

そのとおり。令和5（2023）年度は、北地域包括支援センターにしやまが事業を開始した年であり、充分に実施できなかった項目が複数あった。この部分が、令和6（2024）年度には大きく改善された結果である。

- エ 令和6（2024）年度 地域包括支援センターの収支決算について  
資料6に基づき、事務局が説明。

【意見、質疑応答】

（委員）

北地域包括支援センターはらまのシート①について、収入の部の法人負担額がマイナス表記となっているのはなぜか。

(事務局)

法人負担額は、いわゆる赤字であり、委託料やプラン収入で支出が賄えなかった場合に記載される。北地域包括支援センターはらまちの場合は、黒字であったが、支出総額と収入総額を一致させるように作成いただいているため、マイナス標記となっている。

(委員)

シート①の黒字収支とシート②の赤字収支を合算して、結果的にはシート③に記載のプラス標記の法人負担額が最終的な赤字という認識でよいか。

(事務局)

そのとおり。

#### オ 令和6（2024）年度 認知症総合支援事業の活動報告について

資料7-1、7-2に基づき、事務局が説明。

##### **【意見、質疑応答】**

(委員)

資料7-3の判定会議について、ケースによって違いはあるかと思うが、介入が必要と判断するために一定の指標のようなものはあるのか。

(事務局)

認知症初期集中支援チーム員が実際に訪問する際に「Zarit（介護負担尺度）」や「DBD（認知症行動障害尺度）」などのツールを用いてアセスメントし、判定会議にて介入の必要性を協議している。

(事務局)

当市では、ケアマネジャー連絡会を毎月行っており、年に1回、認知症初期集中支援チームの活動紹介を行っている。参加されたケアマネジャーには、相談から終結までの流れや使用している指標など、実際にどのような活動をしているのか細かくお伝えしている。事業所の中でも、連絡会に出席したケアマネジャーから情報共有していただければと思う。

(委員)

対応件数が年々減ってきている要因はあるのか。

(事務局)

認知症初期集中支援チームからは、相談を受け、そのケース担当者の方に説明・助言等をする、まずは自分たちで取り組んでみたいというケースが増えているとのこと。相談はあっても、チームとしての実働までいかないケースが増えてきている傾向と認識している。

#### **(5) 事務連絡**

- ・委員報酬等の支給日は11月21日（金）の予定
- ・第2回地域包括支援センター運営協議会は、来年の2月25日（水）又は3月4日（水）の予定

#### **(6) 閉会**